京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

國士金玉均氏（三）

▲池運永伊勢大廟に詣づ
▲縣令金氏に立退を命ず

池運永は曾と金玉均の家僕なりしが主人の深き倖顧を受け其の推薦に依り軍事衙門主事に任せられたるものなりと云ふ然るに今勢力に阿附して舊主を刺し恩賞に與からんが爲めに日本に渡來せりとの風評傳はりければ金玉均に從へる柳赫魯、申應熙、鄭蘭敎、李熙固の四人は大に憤り彼が馬脚を顯はくしれんと待つとは知らぬ池運永は國王の勅命を奉じ匕首とを携へ神戸より陸路大津を經て伊勢に詣り日本第一の尊き神明に祈りて其の吉凶をトせんと伊勢大神宮に詣で「上安宗社、所願得失、下濟生靈、致賀神明」の四句を書して托宜を祈願せしに上吉の籤を得しかば大願成就疑ひあるべからずと喜び勇むで上京し京橋區鍋町の一旅館に投宿し直ちに一書を金玉均の許に送りて面會を求めたれども金玉均は池運永の擧動に就て疑はし形迹あれば返書を送りて面會を謝絶せり去れど隨從せる柳等四人は金玉均の心事を覺らず唯本國の嫌疑を避くるが爲めなりとし金玉均が時に或は他を輕信するの癖あるを以て如何にして池運永の假面を剝ぎ金玉均をして深く自ら警戒せしめんと欲し種々の手段を用ゐて池運永を賺し遂に悉く彼れの使命と稱する處を自白せしめ且つ國王の勅書なるものを一見するを得たり其の文に曰く

命汝特差渡海捕賊使臨時計畫一任便宜爲國事務亦爲全權勿泛擧行事

とあり柳等四人は之れを見て池運永の害心あるを知り事に托して同人を欺きて勅書と匕首を奪ひ之れを金玉均に示したり。

於此金玉均は其事由を記したる私書を伊藤及井上侯に差出し出訴の手續を教示あらんことを問ひ又別に警視總監に訴へて保護方を出願せし然るに其後四日を經旅館の主人は累の其身に及ばんことを慮れけん金玉均等に立退きを請ひしかば已むを得ずして横濱グランドホテルに移りしが間も無く時の神奈川縣令沖守固は內務卿の命を以て十五日以內に日本を退去すべき旨の達書を

鴨綠江架橋工程

建設事務所よりの報告に係る鴨綠江架橋工程左の如し

▲南部橋臺　即ち韓國側に於ける橋臺工事は土沙に關する一部分を除くの外全部竣工し第一號より第六號に至る橋脚工事も亦竣工し本年解氷後工事に着手したる第七號第八號の橋脚も巳に基礎工事を終り石積工事は水面以上三分通り進捗し本月末日迄に全部竣工の豫定にて出水するも破損の恐なし十一號橋脚工事も潜水函の据付全部を終了し

▲淸國側　に於ける同橋臺石積工事は二分通り進工したるが同橋臺は深く陸地に侵入し居るを以て今後出水等の變に遭ふも爲めに損害を蒙るが如き憂なかるべし追々雨期に入るに從ひ一般工事の大半は休止すべきも右の橋臺架造工事其他出水の爲めに支障を蒙らざるものは依然繼續施工する見込なり

●歐米金巾輸入狀況

生金巾晒金巾シーチングは日本產を除く他外國輸入は英米淸の三國なりしも米淸兩國は其量極て少量なるが故日本を除けば外國產としては殆ど英國產と稱するも可なるが如し其昨年に於ける英米淸三國の輸入額は總額三百二十五萬八千八百九十九圓にして內譯英國三百廿二萬四千五百十八圓米國三萬四千三百廿五圓淸國五十六圓より洋金巾輸入は開國五百一年に於て既に百四十万圓の巨額に上り其起源甚だ遠を推知し得べし其後年の豐凶爲換の關係他諸種の事情により時に消長なきにあらざるも需用の大勢は漸次增加の傾向を示し昨年度の輸入額は三百廿五萬八千餘圓にして五百一年の輸入額に比すれば二倍三分餘に上れり又之を昨年度の日本產輸入額に比すれば一倍八分餘に上り更に品種別に輸入の狀況を見るに生金巾は最も早くより輸入せられ開國五百一年の輸入額は百三十五萬圓にして洋金巾總輸入額の九割六分餘を占め居りしものか近來生金巾は一般に歡迎されずシーチング晒金巾等壓倒され減退の傾あり昨年の如きは百十三万二千餘圓にして開國五百一年よりも減少し洋金巾總輸入額に對する割合は著しく減退し僅かに三割五分餘に過ぎず時金巾も早くより輸入されたる形跡なきにあらざるも重要の地位を占むるに至りたるは近年の事にして五十萬圓以上に上りしは僅かに光武七年なるに九年には已に百萬圓以上に上り隆熙元年迄は常に生金巾の下位にありたるに昨年以來は反て之を凌駕するに至れりレーチングは日本產激增の爲め著しく增進させるも漸次增入の傾向を示せりと

滿洲煙草の競爭

從來滿洲に於ける煙草營業は主として東亞烟草會社英米煙草會社及び露人の經營にかゝる一會社都合三會社が鼎立して從事したるが東亞烟草會社は大連及び旅順に重なる店舗を有し既に同所に特別工場の建築中なるもの又既に營業に從事せる者あり英米煙草會社は營口に店舗を有し露人の經營になるものは哈爾賓に本店を設置す斯の如くにして露西亞煙草の南方侵畧を阻みし以來は三會社の販路分立せしが今や英米及び日本會社の競爭は將來漸く激甚ならんとす而して兩外國會社は純支那煙草との競爭を眼中にをかず支那人が漸時內國產の煙草を飮用せんとする傾向を生ずるや英米のトラストは直ち其の品物を外觀上純支那產の如く裝ひて支那人の需要に應ずるに汲々たり支那人が自國產の商品に愛國煙草と稱するが如き商標を用ゆるを見て同トラストは滿洲に發賣す可き煙草に愛國軍又は黃龍等の記號を附するなど實に注意周到なるものありて茲に日本の煙草專賣局長の報告の如く以前日本が販路を獨占せし地方も今や漸々英米トラストの蠶食を蒙るの有樣となりしを以て東亞煙草會社は目下之と競爭す可き他の手段を講じつゝあり

●貯水池腰橋堤決潰

全羅北道臨陂郡大倉農場の大貯水池腰橋堤は有名なる古跡にして周圍八百町灌漑面積三千町に渉り全北第一の貯〇池なるが過日來の出〇にて決潰し莫大なる損害を蒙りたる由群山臨益〇利組合長藤井寬太郎氏の報告に據れば當時增〇九尺に及び終に堤防決潰し堤下一帶に汎濫し浸〇家屋中五戶流失し〇利組合は船を以て遭難者の應急救護を施し尙ほ善後の措置を施したり然るに減〇甚だ緩緩なる爲め排〇を妨げられしも幸に人畜に損害なく目下堤內の貯〇は〇深二尺なりとの事なり

講談　大岡政談　越後傳吉　第三十四回

旭堂南陵講

與「まづ百兩持つて歸りなさい、そして餘の二百兩を私の方へ預けとを言はないで、マアく一家內の樣子を見た上、その金ことになさいませ、偶爾途中野郎に待ち受けられて奪られたところで大難が小難で濟百兩殘してあれば百兩だけのもの、何うです旦那どん決しないで貴下の胸に手を置き能下さい、私は無理に勸める譯い、分りましたか」流若は若勞屋が傳吉の人好しと正直との話、傳吉は染みくと身に感じましたか　傳「有難うござ前さまの仰しやることは皆な御親切から出た事、あんだつて私ア疑ふもんでございますか、能く分つて居りますのだ、それでは中村屋さん二百兩の金子は預かつて貰ひまして百兩持て歸り家の樣子を見ることに致しますだ　與「イヤ旦那どん、さう御得心が行きやア私も話をした甲斐があるといふものだちやア斯ういふことに致しませう、もう一いた證文は今私が渡しますが、物は大事に大ッ證據物を出しませ、偶爾この證文を取らなければならぬ、拾た奴事を取落しでもなさいまして、がその證文を見て私の方へ金を取りに來る、渡しちやア何にもならないから二品にいたしませう、誰でも構はぬりの二品さへ揃つて持つて來たら、旦那どんが來らんねへでも私の方は二百兩渡すから、と一つとも一品は……

み、れせんや、汝はその櫛を貸せ　仙「ハイ宜しうございます　與「旦那どんこの櫛と證文を渡しませう、證文一ッ持て來たッて、櫛一ッ持て來たッて渡しやアしません、證文と櫛と二ッ揃へて持て來さへすりやア、平郎兵衛でも治郎兵衛でも、二百の金を渡しますから　傳「分りました、有難うございます　與「へイ、これは證文でございます」と硯引寄せて書てくれた立派な證文、傳吉は涙を流して戴いた　傳「ア、有難うございます　與「それぢやア兎に角これをは渡すといたして置きませう、旦那どんくれぐ～も二百兩の金子を私の方へ預けてあることを言つちやア可けませんよ、家の樣子を見た上でないと……



傳「能う分りました」噛んで含めるやうにいつて與れた後は　與「サア旦那どん一口召食つて……れ酒は飮まれない、さう言はないでた飮みになつた方が宜しい、れせんも側から　仙「叔父は斯ういふ人間ですから疑ひなさらないで御安心下さいますやうに」二人の親切に涙を流して悦んだ傳吉二百兩の金子を預けてその晩は寢込んだがトロくッと一眠り夜が明けると駕籠の準備をして　與「サア旦那どん、道中物騷だから通しで歸りなさい」駕籠を拵へてくれたから直ぐに傳吉は百兩の金子と櫛と證文とを持て出立しました、賀田村の入口で駕籠から降り駕籠屋に酒代を遣て、六年振に戻つて參りましたわが居村、世の中は三日見ぬ間の櫻かなど

いふが、田舎はさうでない、十年見ないでも變らないもの、何となしに歩く畦路田圃路、今まで吉原で三味や太皷の音を聞ても面白ら思はなかつた傳吉も居村の草深い處へ歸つて來る、ろの懷しさ足も地に着くか着かないくらゐ早う歸つて叔母樣やれうめに悦ばしたいといそく歸つて來たわが家の表、偶爾內を覗て見ると火鉢に凭れてれ酒を飮んだ後と見ね傍らに空徳利が二三本轉覆返り、顏を赤くして肱を突きながら居眠つて居るのはれ比や、自分が村に居つた時分とは大違ひの若化粧、れうめは何處へ行つたか居らない　傳「れッ母さん只今歸りました、れッ母さん只今、叔母さん只今　早「ア、誰だね」

ウツトリと眼を開いて　早「アラ傳吉どんかね　傳「アイ、今漸う江戸から歸つて參りました　早「マアく傳吉どんか、御機嫌宜う　傳「ハイれッ母さま御機嫌宜しうございます　早「能くマア歸つてれ出でだつたね　傳「ハイ早う歸つてれッ母さまやれうめに悦ばさうと思つて歸つて參りました、マアれッ母さんれ壯健で結構でございます　早「ハア、サア傳吉どんれ上り、ア、其所に下駄があるから流れへ行つて足を洗つてれ上りな　傳「ハイ」まるで何うも情愛がない。

東京電報

▲關税改正問題 英國政府は關税改正問題に對し長文の意見書を提出せり其の内容は當局者に於て固く秘密に附し居れるが我政府は改正案に對し未だ何等の回答を爲さゞりしと（廿九日）

雜報

●統監邸に御臨幸 既報の如く韓皇は二十九日午前十時閔宮相、李侍從武官長の供奉にて統監邸へ臨御せられ寺内統監へ銀製花瓶一對を賜はり同十一時還御せられたり

●統監夫人令孃謁見 韓皇は廿九日統監邸へ臨御の際統監夫人及び令孃へも謁見を賜はりたり

●總長の衛生訓令 明石警務總監部長は訓令第一號を以て各道警務部長に大要左の訓令を發せり
霖雨後は腸胃を侵すべき傳染病患者發生の虞あり然るに本年は既に赤痢患者各道に散發し腸チブス亦續發しつゝあり豫防上大に警戒を要すべきに拘はらず衛生思想の缺乏せる韓人は之に罹るあるも普通の疾病と同視し豫防を怠る爲め危險の散蔓を爲せる例尠からず就ては時々疾病的戸口調査を勵行せしめ患者及病者の發見に力め豫防上遺策なきを期すべし而して此際一般の淸潔方法を勵行し特に浸水部落及傳染病患者發生部落に對し消毒的淸潔法を行ひ其結果の概要を報告すべし云々

●鐵嶺丸の沈沒後報
▲行衛不明者增加　鐵嶺丸遭難の慘狀は屢次所報の如くなるが當時の調査は混雜の際多少の誤謬を免れず現に乘込人員の如きも二百四十六名と算せられ其内より救助人員を控除したるものを行衛不明者とせしが其後精確なる調査を遂げたる結果總員二百六十四名にして之を内譯すれば船客百九十九名船員六十五名となれり隨て救助生存者百七十一名なれば實際行衛不明と認むべきは九十三名に達せりと
▲嘉義丸と漂流物　大阪商船の大連航路船嘉義丸は二十六日大連航行の途中遭難地點の北方約四十浬の沖合を通過せるにシングル島附近にて籐椅子木片及死體樣のもの浮流せるを認め之を引揚げんとせしが潮流急なる爲め目的を果す能はず空しく看過し去れりとの報達したり依て救助船大浦丸高知丸の兩船は直ちに其方面に向て目下搜索中
▲潛水器の使用難　鐵嶺丸遭難海面は既報の如く潮流頗る急激なる爲め船體の搜索特に困難なりとの事なるが今大阪商船仁川支店員の語る處によれば該海面は水深三十尋以上にして接觸せる暗礁は直立尖形を爲し且つ潛水器を使用せんとするも干滿潮時僅かに二十分間の作業を爲し得るに過ぎざれば其搜索如何に至難なるか推知し得べしと
▲漂流物發見注意　警務總監部及内部は各其所屬官憲へ訓令を發し鐵嶺丸の漂流物發見に注意を命じたるが尙ほ一般人民にしても之を發見せる時は直ちに最寄警察署又は大阪商船其他何れにても便宜の處へ急速屆出づべしと

●佛國軍艦の來仁 仁川に碇泊中の佛艦カラブリヤ號は廿八日旅順に向け出港せしが更らに同日午後五時佛國軍艦デシデー號は旅順より同港に入港碇泊中なり尙亦た本日を以て米國東洋艦隊チヤーレスト、ニユーオルレアンス號司令官ジヨン、ハーバート氏座乘外一隻も來航する筈なれば爲めに港頭一偉觀を呈するならん

●關税局收税類港別 隆熙三年度に於ける關税局收税類港別表は左の如し

▲輸出税の部

仁川	八七、七二八、三〇七	釜山	二四七、五七五、五九九
元山	四五、五七五、九六八	鎭南浦	一〇〇、〇三九、九六
京城	一三八、七三三	群山	一〇一、八六九、一〇
木浦	五九、七四八、八二	馬山浦	六、八三一、〇六
淸津	三三三、〇八	城津	一三、三〇六、八八
新義州	三七、四九一、五三	計	七〇〇、六三九、〇九

▲輸入税の部

仁川	八七六、九六二、九三	釜山	四九五、五六〇、〇六
元山	一九五、九四四、三三	鎭南浦	一七七、四七九、三三
京城	三〇九、一一三、四六	群山	三七、三三一、七九
木浦	四五、〇四〇、八九	馬山浦	三三、五六九、八四
淸津	六九、二五五、〇五	城津	三三、〇九三、一五
新義州	四〇、〇九五、五四	計	二、三二一、四八六、五五

▲噸税の部

仁川	二四、八八〇、七五	釜山	三三、〇〇三、九六
元山	三、一八七、八四	鎭南浦	五、〇五九、一八
群山	二、〇三〇、二五	木浦	四、一七三、九九
馬山浦	一、九六五、二六	淸津	六〇四、一四
城津	二、五五〇、六五	新義州	二、四二六、四一
計	七九、九二一、四〇		

▲總收入の部

仁川	一三、四四七、五四	釜山	一七、二六九、〇九
元山	六、八九六、六八	鎭南浦	六、四一五、六七
京城	二、八七〇、三三	群山	三、五二〇、一三
木浦	四、〇六八、八三	馬山浦	三、九九三、一三
淸津	三、二九七、三八	城津	一、九一八、五九
新義州	一、三三五、三三	計	六四、九三、七六
總計	三、一五、九六九、八〇		

●統監園遊會の彙報 三十日龍山に於て催さるべき統監の園遊會は目下頻りに準備中なるが今其の消息を聞くに左の如し
▲當日の統監　實會當日は主人たる統監を始め副統監及石塚、有吉、國分の各參與官並に石井少將は玄關に於て來賓を出迎ふ
▲汽車及電車　京龍間の電車は普通四臺なれども當日は七臺を運轉する筈なれば招待狀を有する者は何處より乘車するも差支無く汽車は午後三時三十分及三時五十分に南大門を發車す但し電車は料金を要せず
▲階上と階下　宴會場たる官邸の樓上は貴賓の休憩場と爲し階下は立食場に宛つる筈なり
▲模擬店の設備　一號より六號までを設けて淸涼なる呑物等の設備あり
▲來賓の服裝　は羽織袴にても可なりと雖も下駄及ステッキはなるべく愼まれたしとのことなり

●衛生事務協定成立 警察機關更革の爲め最も不便を醸せる衛生事務取扱に就ては爾來警務總監部と韓政府との間に交渉中なりしが二十七日相互の調印を爲せる協定書の交換を了せり其内容は一々事項を掲記し警務總監部と内部衛生局若くは警務部と地方觀察使との執行權限を明かにし以て普通警察と稱するものと一般衛生方面との聯絡を保てるものなりと

●江原道方面の暴徒 江原道管内に於ける暴徒は其後餘り耳にせざりしが去る十三日首魁姜斗弼の率ゆる四十九名の一團金城郡昌道里に現はれ義兵と稱し戰死者の供養を營むべければ金百圓を出せよと里長を脅迫し之に應ぜさるより六七名宛に別れて各戸を荒らし廻はり多額の金品を掠奪し去れりと

●統監兩社員を引見 寺内統監は二十九日午前九時より九時三十分まで韓國銀行の各課長以上の行員を同九時三十分より十時まで東拓會社の參事以上の社員を統監邸に引見して業務上に就て各精勵すべく訓示せり

●海外在住移民の救濟 韓國人にして日淸露其の他各國へ移住若くは旅行中天災又は其の他の災難により各國の保護救濟を受けたるものは從來各自に於て負擔し居たるも今年以來は各情狀により政府に於て負擔救濟の途を講ずべしと

●統監と赤十字本部 日本赤十字社愛國婦人會兩韓國本部に於ては此の程兩本部事務大要を寺内統監及山縣副統監に提出閲覽に供したるが右は韓國に於ける創立以來の沿革日韓社員會員職員數及び會計規定等を記載したる小冊なりと

●故崔益男氏等追贈 韓皇は更に故内部協辦崔益男氏外二名の勤勞を追念せられ二十九日の官報を以て故崔協辦に正二品資憲大夫奎章閣提學を故進善李象秀贈特進宋孫弼二氏に同じく特に正二品資憲大夫奎章閣提學を超贈せられたり

●面内洞里村の合併 平安南道陽德郡に於て德巖里外二十七箇里を十四箇里に同德川郡に於て井西里外六十洞里を三十洞里に合併し内十三村は新村名を附せることを廿九日の官報にて告示せり

●韓皇臨幸御禮參内 韓皇は二十九日統監邸に臨幸ありたるに就き有吉總務長官は統監の代理として國分參與官と共に昌德宮に參内臨幸の御禮を言上したり

●統監各國領事招宴 寺内統監は來る八月一日京城駐在の英、米、獨、佛、白、淸、露の各國領事を統監邸に招待し晩餐會を催す筈にて廿九日夫れ〳〵招待狀を發したり

●赤十字副總長囑託 日本赤十字社總裁殿下には此の程有吉總務長官に韓國本部副總長を囑託せり

●桐原氏東拓入社 元南部警察署長桐原氏は東拓會社の參事として入社す

●敍任辭令 左の通り辭令ありたり
正二位 李重夏
任奎章閣提學敍勅任官二等
正三品 尹喬榮
任奎章閣副提學敍勅任官三等
工事部長 阪出鳴海
兼建築課長技師
免建築課長
建築課設計係長兼 國枝博
監督係勤務技師
命建築課長
建築課設計係兼 馬淵豐
監督係勤務技師
命建築課設計係長兼監督係勤務

六月の經濟概況（中）
（韓國銀行の調査）

商況は不振にして金融は不味なりとは春來各地の市場を充したる嘆聲にして晦澁たる斯界の前途に一縷の光明を望むことを得るは果して何れの時を期すべきやは世人の均しく懸念する處なるも無爲の裡自ら進歩の現象を認むるを得るのみならず陰然形勢の推移を齎らし到底現狀を維持すること能はざるは最早爭なきの事實なりとす尤も本月の如きは最繁期に入り全年を通じて最も市場の閑散季節なるを以て無論人目を惹くの發展を見る能はざるも而も新貨の發行高が前日に比して約二萬圓銀行券市場流通額が均しく三十余萬圓を增加したるは半季決濟資金の需要に基づけるものなりと雖も亦形勢の決して非ならざるを證するに余りあり轉じて貿易の方面を觀察せんに輸出百十六万六千圓輸入三百二十三万一千餘圓合計四百三十九萬七千餘圓にして前月に比し輸出に約十八萬圓を減じたるも輸入には約五萬圓を增加し結局十三萬圓の差違を生じたるに過ぎず其他農產物の如き麥の作柄如何を氣遣ひ大抵凶作の他なきを豫想したりしも氣候適順に復したるの結果は各地ともに平年作以上との情報により且前月來旱魃を氣遣ひたりし農家も上旬以來雨量潤澤なりしが爲め稻の植付好都合なりしを以て孰れも豐穰を見越して稍人氣の引立てるを見る工事の如きも鐵道水道及家屋建築等の弗々各地に起りつゝありて下層の潤ひ少からざりしにより此方面にも大したる影響を耳にせず要するに財界好況の前途は固より遠しと雖ども一般杞憂の如き悲觀を要せず只前途政局の轉變に伴ふ人心の動搖は多少顧念に値するも大勢の趨く處牢乎不拔爲に進歩秩序を害する如き事は斷じてなかるべし

米穀買出の狀況
（三南米產地に於ける）

各生產地に於ける米穀買出方法は韓人自ら搬出し來るものと日商人の產地に出張するとの二法あり日商の直接買入をなすは鐵路若しくは水運便宜の港灣に限られ取引方法は賣買成立後現金交付け一手專買の約束の下に一時多額の貸付をなすの法あり三南の淸道慶山倭舘の如きは現金取引を主とし洛東江、勿禁、撥川等は後法による習慣なり要するに生產地商人の資力如何によると一面生產者側の資方にても資力の如何により現金又は前貸方あるも是は現金取引多き方にして延取引は殆ど行れず如斯にして韓人より日本商人の手に移れる穀物は各地に於て輸出向の叺に詰替へ釜山若くは木浦等に運搬せらるゝ而して釜山に於ける取引狀況は以上運出の穀物は總て穀物市場を經由するものにして同港穀物商は必ず穀物商組合員たるを要す賣買は凡て市場規定の見本袋に入れたる見本により見本袋には銘柄、數量、商店名、現物所在地、倉庫名等を記入の紙片を挿み賣買約束成立の上は其半額を買受人に渡し殘額は事務所に保管す市場に於て賣買する穀物の包裝は總て改良叺五斗入縱繩四横繩二條に絡み而して組合員は取引數量に應じ甲種五斗俵一に就五錢乙種同上一錢の積立金をなすべき約あり此賣買契約後現物受渡をなすには釜山商業會議所規定同理事官認定左記方法に據るを要す

第一條　釜山港に於て穀物及海產物賣買の受渡をなすものは此規定に據る可し
第二條　受渡に使用する量器は日本度量衡法により檢定濟の物に限る
第三條　穀物受渡は主として斗桝を用ひ閉扇扇は一度限とし入桝をなさず又斗量濟迄買受者に於て一切量器に手を觸ざる並斗量際箕を以て篩出せざる事等なるが受渡萬端終了の上は便船あらば直に稅關構內に運び否るものは倉庫に寄托す尤も大部分は前に於て倉庫に託し金融を計り側ら買手を求む從來は各自の倉庫に貯藏する事多かりしも近年倉庫業者の活動と商取引の複雜に赴ける結果倉庫利用者增加し來りしは釜港貿易上の一轉進なりと

●咸鏡道地方の近況 咸北鏡城より最近着したる報導に依れば鏡城、羅南、淸津の各地に於ける本邦在留者の一般は不景氣の聲に蔽はれて商勢何等の見るべきなく羅南の如き元來軍の駐任地にして多大の繁榮を期せしに昨今の如き軍隊は各地に分駐し羅南に屯在するもの僅少なるため一般商人は素より農事經營者の如き蔬菜の販路なきに閉口し居る姿なり又鏡城も今回警務機關統一のため新たに憲兵隊本部の設置さるゝとて大に景氣を呼びしも僅かに三十余名の屯在に過ぎざるさへ尙以て大に歡迎しつゝあるによりても大體は想像され得べし淸津は間島及會寧等地方の盛衰によりて商勢を左右せらるゝ譯なるが目今間島も對淸人との關係圓滑ならざるものある爲め大なる發展を見ず隨つて淸津も目下非常の不景氣なり要するに北韓の商勢的發展は間島方面に於ける淸人の活動振りに基くは誠に止むなき次第なり、日露戰役の際戰死したる露兵の吊盤のため元山駐在の露國領事は露國僧侶を伴ひ鏡城に來着したるが同地の我官民一同日露協商成立の際とて彼等一行を招待歡迎したり此元山領事なか〳〵の如才なき人物なるが聞けば以前身を軍籍に置きたる者の由にて日露親善とは云ひながら北韓方面にては露國に多大の注意を拂ひ居れり

●南浦廣梁灣新道路 目下廣梁灣にては約三千名の人員擔出事業の爲に職に從ひ居り盛況を呈せるが之等の人員は何れ來年度より同事業の經過上正に然るべき結果とし其七分は解散せられ僅々四百名内外の人員となるべき筈なるも右は只使用人員の數のみの事にて事業其ものは依然繼續し益々盛に經營せらるゝ筈なれば隨つて鎭南浦の如きは之が爲め自然賑ひを增し兩地間は今後愈其關係密接となる事なるが就ては兩地間の道路の如きも目下の狀態にては誠に不便なるものあれば平南觀察道にては去日大木書記實地を踏査し新道路開鑿の事に關し調查する所ありたるが右は近く愈々開鑿せらるゝ筈にて右に就き平南觀察道にては去日吏員同地に出張し昨今實地の測量中なり

●風紀振肅と其影響 統監寺内子の上下主義は有名なる事實にて之に配するに謹嚴無比の聞え高き副統監山縣氏を以てす之が爲めに故伊藤公以來上好下隨の惰性を馴致し遂に拂拭し難からんとせし官界の風紀も俄然一大變調を示めし洵に喜ぶべき現象を呈せり隨つて昨今の市內各料理店は孰れも落寞蕭條を極め其光景洵に慘憺たる有樣なるが聞く處によれば右は正副統監の嚴正なる態度と警察機關統一後一般の風紀取締嚴密なるよりサシも慢性的放蕩病に罹され居る日本人官吏の一人として足を運ぶものなき爲めにして其傾向永く持續する時は市內各料理店は將來作れの悲境を見るに到るべし而して其有樣は往年乃木將軍樺山總督の後を襲ふて任に台灣に莅める時に彷彿たりと云ふ

●在韓邦人の學生數 本年度其の筋に於て最近調査に係る在韓邦人の學校數は百二十九校にして生徒は男八千八百四十名女七千七百三名計一萬六千五百四十三名同職員五百三十一名なるが之れを昨度同期に比すれば學校に於て十六增し學生同二千七百二十二人尙は職員に於て三十二名の增員を見たり今各種學校別に記せば如左

種	校數	男	女	計
小學校	一〇七	七、七九九	六、八一八	一四、六一七
中學校	一	三三五	〇	三三五
高等女學校	三	〇	五九五	五九五
商業學校	二	二〇三	〇	二〇三
各種學校	六	二七九	三〇	三〇九
專門學校	一	一八	〇	一八
幼稚園	九	三〇八	二七七	五八五
計	一二九	八、八四〇	七、七〇三	一六、五四三

●有權者數八千人餘 京城居留民團議員選擧は近く十月に迫り既に民團にては選擧有權者資格名簿の調製に着手せるが一昨四十一年の選擧には總計三千餘に過ぎざりしも其後居留民の增加と當時の無資格者も年限と共に得權し更に一方龍山編入の爲めには約八千內外の有權者を算すべしと

●東拓出張所長新補 今回新設せられたる東拓會社大邱出張所參事に小室龍之助氏、江景出張所長に調查役半山久彌氏各命せられたり

龍山通信
（廿九日 支局報）

公人私人
▲藤井寬太郎（藤井合名會社群山出張所主任）二十八日入京巴城館へ
▲本田幸介（水原勸業模範場長）同上
▲水谷千萬吉（平壤鑛業所部長）同浦尾

▲度々御意得たる通り前の龍山民團と京城水道會社と消火栓が怎うの道路使用料が怎うのと折合がつかず舊市街の元町通や新市街では漢江通に鐵管を敷設したるまゝ市民は一時道路を掘り返へされ交通の不便を忍び損のまゝ放つて置かれ朝鮮の雨期も早や過ぎて都市の衛生は是れよりが大事といふ今に至るまで所謂懸案の何時落着すべくも見わず龍山市民は水道上水を脚下に踏まへながら薄氣味惡き井戶の水を飲むで居る始末なるが京城民團にては何とか折合をつけではと玆五六日以前再び水道會社に交渉を開始せしが其內容は前龍山民團より提出したりし條件は全部之れを放棄し前京城民團對水道會社の契約に倣へるなりと

▲新龍山の電線開通したれど新舊市街を接續する線路無きは聊か物足らぬ心地す望蜀とやら何とやら時に取つて贅を申す譯では無し市民は只管に接續線の急設を希望し居れり因て京城民團龍山出張所主任は鐵道管理局に出頭し龍山橋迄なる例の地下道に電線を通ずることの許可得べく懇談する處ありしといふ其落着の程は不明なるも若し鐵道管理局にして之れを許可するに於ては日韓瓦斯電車會社は地下道を通はすべく特に小型の車臺を製造してまでも之れに充つる程の氣込みなりといふされば市民はれ役所の許可を待焦れ居れり

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
廿九日	九四、七一七、五九	二九五

▲治外法權▼

目賀田男曰く我々の決行すべきは對韓策でなくて濟韓策だと、濟韓の語實に意味深長で余の意を得たものだ▲世には今になつても矢張り舊思想に擒はれ對韓問題など〻馬鹿な事を云つて居る連中が幾らもある、思ふに此輩の頭は先天的に粗末で、匹を求めたらまづ朝鮮側なら田舍儒生と云ふとこダロー▲對韓と云へばイッツァ何とか云ふ古風な朝鮮屋を代表者として當地へ寄越したことのある對韓問題同志會とやらは今はドウなつたのか、兎角錢の無い連中のする事は長續きはせない▲總務長官の有吉が基督信者であると云ふ處で當地邦人信者の重なる連中や牧師等が同人歡迎の爲に晩餐會を開いた、聞く有吉の好評は邦人信者間許りでなく、外人宣教師間にも大分ある樣だ、有吉の今後は統監府の光りだ、堅だ、ドウカ信者としての勉めを全ふして貰ひたいものだ▲只茲には兎角宗教に因つて身を固めて居る人はドウも自宗以外の人とは交際を怠る樣な傾がある事だ、總務長官の役目を果す爲には餘り潔癖ではイカヌドウカ自宗以外の人を異邦人視せぬ樣に心掛くべしだ▲雲山金鑛會社に雇はれて居るノオランと云ふ白人醫師の爲に該地方の日韓外人連署して韓政府へ授賞の請願書を出した、ノオラン果して仁術を行つたとすれば八卦章位はやつても良かろう▲マタれ腹立を爲るか知れぬが京日子に物申さん、二十九日の貴紙に統監就任式と云ふ標題があるがアレは何の事か我寺內統監は親任式が濟むと同時に就任して居るのだ、何を以て撰擧された公吏の樣に就任式をするか、また統監挨拶の辭中 天皇陛下の上の一字をあけてないがあれでは不敬に當りはせぬか思ふに以上は校正の間違ダロー、併し何しろ模範新聞のする事故尊嚴の爲め一寸伺つて置きたい。



小料理店の主の不平

▽先づ自らを使めよ

此の頃の平民文庫の投書は小料理店の警察官に對する不平で満たされる係り記者の手に依りて没とせらるゝものをも加へたら夥しい數に上ることであらう面して其の言ふ所は警察署の取締りが區々であると云ふ事、下級警察官及び憲兵の苛酷とよりは寧ろ殘酷な……上官の取締り方針を履き違ひたる行り方に對する不平、此の二種に外ならぬ仍つて案ずるに一應は至極尤もな不平ではあるが又少々贅澤な點がないでもない、何故ならば粉装したる酌婦を街路に出し往き來の人に遊興を勸ゆることは勿論、店頭の道行く人の眼に映く様な所に居らしむる杯と云ふことは既に二年以前嚴重に諭達せられた所で嚴重なる意味から云へば今又更めて其筋の取締りを煩はすのは不都合である、夫れから例へば南部と西部とで取締上寛嚴の差があると云ふ不平此れも一應尤もだが人の面の同じからざるが如く人の心も同一でない以上多少若くは全然解釋を別にすることあるは彼の地方裁判所で有罪と決定したものが控訴又は上告に依りて無罪となる例に徴して明なる事實であるから此れも無理ならぬことゝ見ねばなるまい、然るに自分が西部署管内に營業して居て同署から或る事故を以て責られたからとて他署管內のものは幸福だなぞと暗に他の同業者を陷入れ自己の非行?を棚に上げて警務部を攻撃する如き投書をするのは好ましからぬ所業だ、尤も當局官憲に於ても可成取締りの程度を一致せしむるに勤むべきは當然であらうが夫れより先き各自に於て當初の諭達に基いて方針を一定すべきである夫れから此の下級警官或は憲兵等が酌婦が往來に行んで居れば一も二もなく客曳きの爲めと見做して殘酷な取扱ひをすると云ふことと是れは二三の事實はある樣だ酌婦とても人間である以上今日此の頃の蒸し暑さに表障子を閉め切つた家內に行ひ濟して居られるものでない以上相當の涼を取ると云ふことは認めて遣る必要はある此の點に付いては全然僕は投書家に同ずる、がだね、名を涼みに藉りて往來に網を張つてるのと實際に涼みに出て居るのとの區別を何處でつけるかと云ふ事になると玉石混淆は到底免れまい、とすると巡査憲兵君等にも同情を寄せない理由には行かぬ、之れを要するに當該官憲は彼れ等營業者に朝顏形の窓目隱しを設ける事を許し外界の視線を遮きりて窓障子の開放を許して相當の涼を取らしめたならば禁を犯して粉裝せる酌婦の街路に佇むことを防遏し得られはしまいか、翻つて之れを營業主側に見るに徒らに當該官憲を怨むことを止めて自ら愼み戒めて可成手數と累とを他及び官憲に及ぼさず抱ゑ酌婦の數を詐らず悉く屆出て規定の健康診斷を受けしむるのが先決問題であらふと思ふのである(むの字)

不埒な上月質店

▽保險金の只取りを企て
▽新聞記事を非認したる

仁川宮町二丁目居住の質屋上月つねに對する同地花町二丁目土木受負業松富助作の告訴に係る質物損害賠償事件第二回公判は一昨廿八日午前十一時より仁川裁判所第一號法廷にて開かれたるが先づ臼井判事は原告側の證人なる消防副小頭土谷寅吉に對し取調べを爲たるに寅吉は『上月質屋の類燒前裏手より二階に登りて逸早く質物を搬出せんとしたるに階下に一名の婦人あり同品物には保險を附しあれば持出すの必要なしと叫ぶものありしにぞ其儘同所を退きて他の方面に活動したり云々』と申立て續て被告側の參考人として喚問せし呉服行商高森助七に對し火災當時手傳ひに行きたる際の狀況を逐一問糺し倘は質使人なる中井イヨに對し質物延期に關する審問を終はるや最後に上月鹿三に對し糺問する處ありたるに質物流質延期の交渉を受けし覺へ更らになしと白忙けしが判事より嚴しく追究せらるゝに及び實は其の相談を受けましたと初めの元氣に引かへ蟲の啼くが如き聲にて白狀し頭を低げし男振の惡さ、十數名の傍聽者は思はず失笑を禁じ得ざりき尚亦た類燒前の餘裕只だ十分間ありしのみと鹿三答ふるや判事は發火元より餘程距離もあるべきに只だ十分間の餘裕ありしのみとは受け取りがたしとて叱責され其他二三に就て審問せらるゝ處あり被告側の要求に依り類燒前後に於ける狀況を確證せんが爲め前仁川署警部萱野三四郎、坂下刑事、小倉病院長を證人として喚問するに決し閉廷せしは午後三時頃なりしが次回公判は九月初旬を以て開廷せらるゝ筈

燈臺守の怠慢

▽鐵嶺丸遭難者の談

鐵嶺丸が遭難の際發火信號をなし又瀛笛を連鳴し竹島燈臺に向ひ救助方を依賴せしも何等の應答信號なく伊藤船長は燈臺守の無責任を憤りたる由なるが其の後香羽丸が救助に向ひし時も濃霧のため諸種の行動を妨げられ同樣竹島燈臺に向ひ何回となく信號をなしたるに徹頭徹尾何等の應答をなさゞりしかば中川船長も亦燈臺守の怠慢に呆れ遂に同燈臺よりは何の消息をも聞くことなかりしと云ふが之れに對する當局者の辯明こそ聞されたし

▲役に立ぬ救命艇　鐵嶺丸遭難の際同船より竹島の燈臺に向つてなしたる霧笛信號は約一時間に涉れりしも何等の信號をも爲さず且つ救助に來らざるを以て韓國の海事官が取調べたるに同燈臺に備附けたる二艘の救命艇は孰れも破壞して久しき以前より使用に堪へざるものゝ由にて嚴重に調査中なりと

鐵嶺丸さ力士の留守宅

▽友綱、常陸、梅、伊勢ヶ濱
▽出羽の海、二所ヶ關、駒ヶ嶽

鐵嶺丸遭難の報が東京に傳つた時就中大相撲一行の留守宅にては何れも關取連も便乘せしものと思ひ込み居りし事とて本所方面の驚愕一方ならず、大騷動を極めたるが其內『大相撲一行は廿四日天草丸に便乘したり』との電報、相撲協會に達した爲め漸く安心の胸撫で下したり、夫れに就き友綱の妻女は曰く『始め新聞社の方から電話で二百名死んだとの知らせがあつた時は、來合せて居た國見山の妻女も私も突然の事とて只狼狽して身體はガタ〳〵震ふ若い者が湯に行つて居ないし、手のつけやうも有りませんでしたが其內、協會へ電報があつたと云ふ知らせが來たのでやつと安心しました云々』常陸山の妻女れ近は曰く『前橋の共進會へ行つてる人から突然の電話で、大變な事が出來た、れ話しはするが無いてはいけない、關取衆の乘つた船が沈んだ何と申上げやうも無い誠に氣の毒でと悔みを云ふもんですから、私はもう氣が茫乎となつて口も利けず、間もなく無事の電報を協會から知らせて來たが夫れでも半信半疑で、易を見たり、陰膳を据ゑたりしました、陰膳に湯氣が上つたので漸と安心はしました云々』と猶出羽の海の如きも心痛の餘りに好きな酒も飮まず飯さへ咽を通らざりし程にて又梅ケ谷方も、前橋よりの電話で夫れと知り養母は驚愕して一時は腰も立たぬ有樣なりき、猶一行に先ち鐵嶺丸に乘たりと傳ふる年寄伊勢の濱方にては病中の妻女が、方々からの知らせで無事な事が分り安心です』と語り、元海山事二所ケ關方は『無論鐵嶺丸には乘つてゐますまい』と案外落着いて居たり駒ケ嶽の戀女房銀次曰く『關取は巡業先で盜難に罹る宅は宅で泥棒に襲られますし今年は惡い歳だな此の上何事もなければ善いがと案じ暮して居た矢先きに彼の報知せでしよう驚くまいの段ではない、貴君れ察し下さいまし到底話しの出來る如な生優しいのではないのです思ひ出しても慄然する程です』と顏色變へて語り居たり兎に角各留守宅とも贔負〳〵の見舞客にて非常に混雜したりとは然もあるべし

●三面情歌

(廿一日本紙記事)　水賓生

▲韓靈の溺死
韓の撫子大和の土地で
哀れ苔のまゝで散り

▲領事と美人
國に垣なき開た御代は
戀に人種の別も無い

▲脫營兵逮捕
邦家の柱と可成身をも
忘れますら夫面汚し

谷川三藏の公判

同第二回公判は二十九日京城地方裁判所に於て開廷ありたるが詳細は明日の紙上に報道する所あるべし

●白米斗りを盜む

南部後洞空瓶買金壽同(廿二)双林洞燒芋賣朴順萬(十五)同上姜龍南(十一)同上空瓶買崔壽星(十四)の四韓童は共謀の上七月十五日本町六丁目米商佐藤力臧が同町路傍の荷車の上に置きたる俵入白米二斗を同十七日大和町三丁目街路に於て本町四丁目前田喜聰が荷車の上に着け居たる白米二斗を二十二日本町七丁目街路にて本町六丁目高井專二が荷車の上に置きたる白米一斗を二十二日壽町一丁目路傍にて本町六丁目三好喜六が置きたる白米二斗五升を同日同所に於て本町七丁目中村金次の白米二斗五升を翌二十三日大和町二丁目氷屋大隈滿造方店頭に置きありたる錢力箱一個在中金三十錢を竊取分配したること發覺し檢事局に送られたりと

●下駄さ羽織と餅

福井縣人當時太平町一丁目六十九番戶水野仙松(三)は本年三月十四日永樂町一丁目理髮業藤田虎三郎方に行きて羽織一枚を借り出し竹園町一丁目田村質店に金一圓にて入質し又同年五月十日頃竹園町一丁目靜岡組齋藤網吉方に雇れ中旭町一丁目下駄商泉橋五郎方より下駄三十六足を受取り內二十一足を橫領し六圓七十八錢に賣却し猶は同店を解雇せられし後も靜岡組の名義にて本町五丁目七福堂より餅一圓丈けを前後二回に借りたる事南部署長野刑事の探知する所となり取調中の所詐欺並に橫領罪として檢事局に送らる

●甜瓜損害金十錢

長谷川町二丁目二十二番戶米穀商本田方雇人吉岡淸源(十九)は北門外濟國人徐翠芳(二二)が二十八日午後五時二十分頃甜瓜を賣りに來りしが言語の行違ひより喧嘩となり甜瓜十五個を碎き警察問題となり南部署に於ては清國巡警立會の上損害十錢を吉岡に出さしめ示談事濟み

●理髪職人の亂暴

山口縣下の關市生れ勇次七太郎(三)は御成町百七番戶理髮職大垣守重方に雇れ中不都合の廉にて解雇せられたるを恨みに思ひ一昨二十八日の夜同家に暴れ込み石を以て硝子鏡を破壞したるより西部署に引致され目下取調中なりといふ

●拐帶韓人の就縛

京畿道金浦郡金浦邑李守明は同所雜貨商遠藤仲次郎方に雇れ中金百十五圓を竊取し京城に來り南大門外を徘徊し居たを西部署刑事の爲め本署に引致せられ取調中なるが既に四十余圓は費消し居たりと

●韓人變死者二件

光熙門外にて韓人一名獨立門外に韓人一名の變死者ありたるが何れも二十八日午後八時其の筋の檢視を終り當該地の洞長に引渡したりと

浪花館女義漫評

△ゆめ聞落し玉ふな

夜の暑さ凌ぎに散歩がてら足の向くまゝ浪花館へと出掛けた、また蓋が開いて二日目なるにドウスル連中已に館全部を占領し特別席には斯界の元老とも云ふべき長髮辯護士も見えた、サテオコがましくはあれど左に二十八日夜の漫評をして見よう。

れ祝儀より此千代までは批評する價値なし、仙春は辨慶上使を語つた、年の割には旨いが惜しい事には聲がカン走つて男女老若の語り分けが出來ぬ「書寫山の鬼若丸だつ」の邊少もコタヘぬ併し之は注文する方が無理かも知れぬ容色は一座中の第一等ダロー仙平の絲は達者な事は達者だがあまり叩き過ぎるので絲に韻もなければ艷もない今少し柔かに情を持たして彈かねど語りにくくもあるし第一聞苦しい堀川の猿廻しではないが夫れではトーント糸に情がない、隅照の壷阪は世話の難物を能く語りこなし糸は廣八なれば惡からう筈はない、併し慾を云へば澤市の坐頭らしい處が終始一貫せぬ奥の詠歌もいま一息だ夫れに肝腎の女房が祈願の勸め澤市が途中の歌などを拔きにして一足とびに寺の場所としたから少しも筋が通らぬ、由來女義太夫は自分の語り良き處當て場所許りを語つて勝手氣儘に拔くから筋も何も有つたものでない是では第一語り手も情が乘らぬが聞き手の方は尚乘らぬ、折角の作者の苦心もメチヤメチヤだ容色は當世向きの丸ポチヤ令孃風の下げ髮さ來て居るから大向は大分受けたらしい、惜しい事には口をゆがめる癖がある。

越春の御殿は切前として申分なし聲は此嬢が第一等だ、併し惜しい事には咽が細し瘠せ肉故餘音嫋々タップリとは行かぬ、ダが『何ともない』と澁面ックリ』の邊りやんやと云はした、糸は相變らずの仙平でヂャヂャ馬、廣八の油屋流石は異打でぞつしりして居る、買れてん、喜助、萬の、皆柄にはめて良く語つたが慾を云へばれてんの語には今少し淚がほしい、夫れにドコの形か知らぬが鹿の口說にせめて一夜の抱寝がしたいとか上乘り云々とか殆んど聞くに堪ねぬ『これ見玉へ光秀どの』の作り替を入れたが異打とも有うものが不謹愼千万だ叱つて置く、此一座は大坂娘義太夫と銘打つて居るが大阪ではあるまい、第一ドレの音にも一種のなまりがある殊に口上云ひが此處れ聞に達しまする浄瑠璃藝題云々が尻下りの妙な音であるのは一田舍座だなど首肯される、シカシ玉揃ひで昨日の顏見世が呼物になつて初日から大入りとは目出度し〳〵(老ドウスル)

今日の運勢

七月卅日 舊六月廿三日 七赤佛滅 丙申 除△一白●快欣の日大抵吉事業始め開店婚姻養子の事談に適す瘵病衛生に留意の事△二黑●家族家庭內に風波あり其外吉△三碧●離師多き日新事賣買取引尤も注意すべし色情の破れを戒しむ△四綠●盜害橫領防ぐべし共同組合婚談には吉新事旅行見合せの事△五黄●貸借保證を禁ず尚損害出費多き日とす△六白●轉住旅行賣買進んで吉其外平凡△七赤●新事見合せの事談合契約婚談共同組合破綻の恐れあり△八白●親疎のため出捐損害多き日なり新事旅行賣買進んで吉△九紫●沈衰の日新事改易の事効なし旅行金融貸借婚談利なし(三一舘)

美術牛裝帶締其他組類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり德商店

一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕度御用の方は御來談被下度願上候

建築業 柴田芝之六
京城旭町三丁目（電話五六八番）
表具部開業
襖額屏風天井壁張及表装一切並書畫の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 眞網光島小久太雄郎（電話五六八）

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士 中島貞信

京城曙町（電話二八七番）
統監府御用
宮内府御用
軸物表装
金銀屏風
額面〔額縁〕
壁張〔…〕
石川表具店

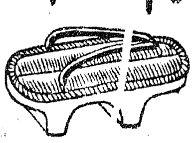
入院隨意
内外科小兒科梅毒淋病
高井醫院
京城壽町三丁目 電話二二六
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

純良牛乳
京城東四軒町
岡野牧塲
電話壹〇六九番
●●●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

焦心鬱志多年爲斯道於漸稷茲奥旨恍然似有得者雖如推窮國家運命吉凶禍福夢兆面相等洞察無遺如鏡照物茫洋辭念匪耕
易斷觀相教授
京城本町五丁目
館主 土御門派大陰陽師 三一館



六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢



東京
足袋
本店東京
京城大和町二丁目（日の出橋際）
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商塲内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

ききめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、膓胃加答兒、疵傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

廣告
前間恭作氏著
韓語通
定價壹圓五十錢
郵稅十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
韓國京城本町五丁目
和洋金物商
釘本藤次郎本店
長電話四五番 東信略號（ク）
振替貯金口座韓國（二五六）

貨物運送取扱
關稅貨物取扱
危險擔保附運送品代金付貨物運送貨物引換證發行
内國通運株式會社
京城南大門驛前
京城支店
電話七〇八番
電話一七九番
仁川驛前
仁川出張所
電話五一一番
草梁驛前
釜山出張所
釜山驛前電話六二六番
草梁驛前電話五三七番
龍山驛構内
龍山出張所
電話二〇六番

印章彫刻
ゴム印彫刻
諸官衙御用達
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
奥野岩太郎

統監府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
本町三丁目 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九〇八番
同第二 電話一六四八番

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山產業合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話三〇三番）
出張所 東京十番地 京城南大門通電新橋 一町目丁一六九三二

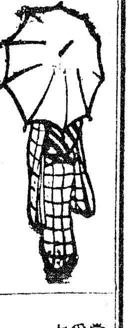
無比勉强
かや
わた
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
吳服太物
洋反
蒲團調進
唐川商店
京城明治町一丁目
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

廣告
民事、刑事、其他總ての訴訟事件の鑑定貸金證劵、賣掛代金、約束手形、爲替手形、其他總ての債權は事件の大小に不拘現金買入
負債、貸金、銀行、會社の整理引受及相談等は懇切依賴に應し貸金請求、家賃取立、小作取立、其他總ての民事、刑事訴事件
右は迅速確實に依賴者の滿足を旨とし事務を取扱ふを以て事件の大小に不拘御來談を乞ふ
京城旭町二丁目百四十五番戶
堤重四郎法律事務所
鍾路典獄後洞廿一統六戶
同鍾路出張所

紙と印刷
諸紙
諸官衙御用
和洋帳簿
印刷
各種製本
播本（ハリモト）商店
京城本町六丁目
電話百拾番

金錢貸借
電話讓渡
土地家屋
老舖賣買
人事百般其他
周旋業
京城明治町一丁目勸商塲前（電話一一九八）
明治屋

京城相生町南門湯横（電話一二九四番）
自午前八時至午後九時
京城梅毒病院
●花柳病專門●
附痔疾一般
●入院隨意●
院長醫學得業士 蘆田耕平



京城待合案内（いろは順）

南山町一丁目	入船	電話一一三五番
本町一丁目横町（支那領事館前）	春日	電話九七〇番
南山町二丁目入口	やしく	電話二二二九番
本町五丁目	月の家	電話一〇七六番
永樂町一丁目	嬉野	電話一四四四番
南山町二丁目	八島	電話一二八八番
初音町二丁目	松の家	電話一三三九番
南山町一丁目	この花	電話一〇二五番
壽町三丁目	壽	電話一一二二番
南大門通三丁目	紅葉	電話一三八二番
旭町二丁目	醉月	電話二六五番
旭町一丁目	住の家	電話六七六番

京城待合案内

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大坂西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晋州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、
韓國銀行

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番
四九二番
日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓五十錢）
二等（一圓八十錢）
三等（一圓五十錢）

時約販賣白製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
新ビール
新茶大賣出し
（電話二五一番）

新に堪能の料理人を入れ調理の面目を新にし季節々々の粹を凝らしたる目新らしき所を御試めし願上候
壽司、うなぎ、アイスクリームも同樣御高評願上候
壽町二丁目
電話九百四十四地
食道樂

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方様へも御直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也　敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛置時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計卸商
喜多金光堂本店
京城本町二丁目（電話一〇一五番）
時計卸小賣
喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三二八番）
右特約店
金化堂時計舖
各地方より御注文は發送費申受候